

デスクノート

昨日、民主党最高顧問の藤井裕久衆院議員(75)とじっくり話す機会を久々に得た。大蔵省出身で蔵相などを歴任。現在も党税制調査会長を務めるなど経済・財政通というイメージが強い藤井氏だが、政治の原点は「平和」だ。

東京大空襲では隣家が焼失、多くの友を失った。防空壕の中で、「もし生を全うすることができるなら、このような事態を二度と繰り返してはならないと、幼い胸に固く誓った」。

今期限りでの勇退を公言しているが、「若い議員は観念的にしか戦争を知らないので怖い」「よき戦争、あしき平和などというものはない」と口角泡をとばし、引退後も平和の追求に身を挺すると誓う老兵の一徹が頼もしい。